



軍事侵攻から約1,000日。ウクライナ情勢は依然として見通しのたないまま、日本では現在約2,000人の避難民が生活しています。

単身で避難した若者や、小さな子を抱える母親たち、高齢者など、なかなか安定した暮らしが築けずにいる方が多い状況ですが、日本での公的支援は3年を区切りに順次終了・縮小となっていきます。言い知れない不安をかかえながら避難者たちは、日本語を学び、学業に就職へと懸命な日々を送っています。

そんな避難者に楽しいクリスマスをプレゼントしたい——。日本YMCA同盟は12月7日(土)、「人形劇団ポポロ」の観劇会を行いました。会場の東京YMCA山手センターには、日本の親子も含め約80人が来場し、ウクライナ民話『てぶくろ』の劇を鑑賞しました。

日本でも親しまれている『てぶくろ』は、小さなネズミが、寒さを

しのごと訪れたオオカミやクマなど大きな動物たちを“手袋の家”に入れてあげるといふ、共生社会の理想が描かれた作品です。人形たちのユーモアあふれる舞台を楽しみながら、平和の尊さを思う一日となりました。



盛岡YMCAリーダー紹介⑳



こんにちは! 岩手大学教育学部2年、すずりこと小倉かえです。私は、大学で国語科教育や日本語教育を学んでいます。そんな私ですが、この名の通り書道が好きで、8歳で習字を始めてから、現在も毎週地域の書道教室に通い書法を学んでいます。自分の字に悩み、時にうっとりしながら(?) 自己の研鑽に励んでいます!そして、YMCAの習字教室に参加しているリーダーでもあります!今の所、すずり1人ですが(笑)。



私とYMCAの習字教室の出会い、初めて参加したリーダートレーニングの際だと記憶しています。まだ活動に参加していない頃のことです。年間計画に載っていた「習字教室」に興味を持った私が、面識のない、マッチョのリブリーダーと、(当時は)顔が怖そうに見えたシュリンプリーダーに「習字教室ってリーダーの方も参加されてるんですか?」と尋ねたことが始まりです。それまでリーダーが参加したことのない活動だったのですが、「面白そうじゃん」と2人が受け入れてくれたことを強く覚えています。人見知りの私が2人に自分から話しかけたことも含め、不思議な出会いだったと今でも感じます。

私は今まで、習字教室を始めサッカースクール、キャンプ、サンデースクール、サポートプログラム、野外活動等の活動に参加してきました。入学当初には想像もしていなかった沢山のことを、YMCAを通して学んでいます。様々な人・活動との出会いに感謝しつつ、今年も子ども達や関わる方々と共に成長する1年にしたいです!あと口角をあげる!頑張ります!!!

岩手大学2年 小倉 かえで (すずりリーダー)

最新情報はこちらでチェックできます!

「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram

スプリングサッカー大会



こんにちは! ジンベエです! ジンベエは去年のスプリングサッカー大会に参加しました。去年の大会はたくさんの子供たちやリーダーたちがチームになってサッカーの試合をしました。



普段は、別々の学校や学童、活動に通っている子ども同士でチームになることも多いですが、どのチームも最後は仲良くなり協力しながらサッカーをしていました。多くのチームがありましたが、どのチームも、子どもたちやリーダーの個性が出ていたり、チーム全員で協力したりと、とても盛り上がりました。

ジンベエも、初めて会う子どもや初めてチームになる子どももいましたが、仲良くなることができましたし、普段一緒に活動している子どもとも、いつもよりも盛り上がることができました。

最終的に、全員が仲間としてたのしく活動できるのがスプリングサッカー大会の魅力だと思います。今年のスプリングサッカー大会も楽しみにしています! 岩手大学4年 前川 優汰 (ジンベエリーダー)

2025年
スプリングフットサル大会参加者募集中!
開催日: 2025年3月9日(日)

表紙の写真から



1月18日(土)、放課後児童クラブに参加しているリーダーが集まり、児童クラブリーダー交流会が開催されました。スタッフも交え、ゲームをして盛り上がったり、児童クラブを盛り上げていくために課題や大切にしていること等を話し合ったりしました。



2025年2月10日発行
認定NPO法人 盛岡YMCA
〒020-0021
盛岡市中央通 3-19-22
Tel 019-658-8773
Fax 019-623-1579
www.moriokaymca.org
発行人/ 濱塚 有史
編集/ 本部事務局

YMCA News



日本における「いじめ」の現状



みなさんは、日本におけるいじめ問題の現状をご存じでしょうか? 令和5年度に文部科学省が行った、『児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査』によると、日本のいじめの認知件数が、588,930件となっています。これは、前年度に行われた同調査結果よりも約3万件増えており、近年増加傾向にあります。

また、いじめ問題の解消状況については、588,930件中458,128件となっており、77.8%が解消したという結果でした。つまり調査時点では、認知されたいじめ問題の中で130,802件の23.2%が未解消となっており、いじめ被害にあった5人1人が、いじめに悩まされているということになります。

さらに、この件数は、あくまで調査の中でいじめ問題として認知された件数になります。この件数の裏にいじめ問題として認知されていないケースや、大人に訴えることができず、心を痛めている子どもたちがいることが考えられます。そして、私たちが住む岩手県においては、1000人当たりのいじめの認知件数が69.1件という結

果が出ています。これは全国の平均57.9件よりも11.2件多く、私たちが暮らす岩手の地での、深刻な社会課題だと考えられます。

児童クラブの中でも、いじめにつながる可能性のある事案が発生することがあります。その要因として、自分の気持ちを優先してしまい、相手の気持ちを思い図ることができず、相手を傷つける言動をとってしまうといった、子どもたちの思考や心、未成熟さにあります。子どもたちは、様々な関わりの中で、多くの成功や失敗をきっかけに、成熟していきます。そのきっかけを見逃さず、子どもたちの想いや気持ちを尊重し、一緒に考えていくのがリーダーの大きな役割だと、私は考えています。

毎年2月最終水曜日に行っている子どもたちと一緒にいじめについて考えるピンクシャツデー運動も、その大切なきっかけの一つです。今年もプログラムを実施し、子どもたちの話を聞きながら、いじめをなくすにはどうしたらいいかを真摯に考える時間にしていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

YMCA 盛南センター長 中村 渉

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

たくさん滑って、遊んで♪ ジュニアスキーキャンプ



こんにちは!ピンです!!ジュニアスキーキャンプは12月27日(金)~29日(日)の2泊3日で、安比高原スキー場で行きました。幼児から中学生まで43名、リーダー15名、スタッフ3名の総勢61名で元気いっぱい、大賑わい、大盛り上がりのキャンプでした。

1日目は、初めてのスキーや久しぶりのスキーで、ワクワクドキドキしている様子からスタートしました。子どもたちは、スキーを楽しみながら果敢にチャレンジして、上手くできた子どもそうでない子ども「明日はもっと滑るぞー!」と気持ちを高めていました。

2日目は、午前も午後もスキー尽くしの1日でした!昨日よりもたくさん滑れたり、スキーを上手になったり、子どもたちが存分に楽しんでいました。

3日目はキャンプ最後のスキーレッスンで、子どもたちが思い思いに噛みしめながらスキーをしていました。3日間のレッスンを通して、子どもたちが自信をもって楽しそうに滑っていました!



キャンプはスキーだけじゃありません!お楽しみのイベントだらけでした!朝食、夕食はバイキング!美味しそうな料理を「どれにしようかな?」と迷いながらも、お腹いっぱい食べました。お風呂はなんと!露天風呂!スキーで頑張った体と心を癒していました。朝と夜には様々なゲームを子どももリーダーもノリノリになって遊びました!

3日間を通して、子どもたちが今までの自分を乗り越えていく瞬間をともに分かち合えたことを最高に思います。ありがとうございました!

岩手県立大学3年 高橋 創 (ピンリーダー)



みんなの成長が感じられた ダイナミックスキーキャンプ



こんにちは!コッシーです!1月11日(土)から13日(月・祝)にかけて、安比高原スキー場で行われた、「ダイナミックスキーキャンプ」のご報告をさせていただきます。今回は、子ども43名、リーダー14名、スタッフ2名の総勢59名が参加しました。

スキーレッスンでは、3日間とも晴天に恵まれ、絶好のスキー日和となりました。初めてスキーに挑戦する子どもも、経験のある子どもも、みんな楽しんでいる様子でした。また、リーダーと一緒に滑りながらアドバイスを受け、自信を持ってスキーに取り組む姿が印象的でした。

2日目午前のスキーレッスンでは、参加した子ども全員がリフトやゴンドラに乗ることができました。

最終日のスキーレッスンが終わった後は、「もう一回滑



りたい!」「たくさんリフトに乗ったよ!」といったスキーを満喫した声があちこちから聞こえてきました。

プログラムでは、ジェスチャーゲームが大盛り上がり!指示を出す子どもや、ミッションをクリアするために相談し合う姿が見られ、リーダーや子どもたち全員が楽しんでいました。また、プログラムや日々の生活を通じて、生活グループごとに個性がしっかりと表れていました。

この3日間を通じて、子どもたちの成長を強く感じる事ができ、私たち自身も多くを学ばせてもらいました。ご参加いただいた皆さん、そして活動を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました!

盛岡大学3年生 杉田 翔 (コッシーリーダー)



ちきゅうとあそぼう『電車でGO!!お馬さんに会いに行こう♪』



こんにちは!ベリーです!11月「ちきゅうと、あそぼう」では、11月24日(日)に、「電車でGO!!お馬さんに会いに行こう♪」で馬こ公園に子ども達と一緒にきました!

子ども40名、大学生ボランティアリーダー17名、スタッフ2名の総勢59名が参加しました。今回の野外は、いつもの野外よりも多くの子ども達が参加し、子ども達同士でのかかわりがまた増えたように感じました。

今回は、盛岡駅から滝沢駅まで電車で移動し、そこからマイクロバスで馬こ公園まで移動しました。到着してからは、施設の方の説明を聞いて、乗馬体験、お掃除体験に分かれて、馬と実際に触れ合いました。

餌やり体験では、最初は怖がって餌をあげられなかった子、怖いと言いつつ頑張って餌をあげていた子など、子ども達の心が動くたくさんの瞬間を見ることが出来ました。

午後のフリータイムでは、リーダーと鬼ごっこや遊具で遊び

んでいる子や、もう一度馬に触れ合っている子など、それぞれの好きなことをして楽しく遊んでいました。

今回の野外活動では、馬が苦手な子どもも頑張って触ってみたり、餌をあげてみたりして、子ども達一人ひとりが挑戦や成長できるような野外活動だったなと感じました。これからも、野外活動を通して、子ども達同士でのかかわり合いがもっと増えるようにしていきたいです!

盛岡大学1年 大谷地 苺希 (ベリーリーダー)



サポートプログラムに参加しました



12月のサポートプログラム

皆さん初めまして!高身長と笑顔がトレードマークのチーノです。よろしくお願ひします!!12月7日(土)に、盛岡市総合プールで行われた、サポートプログラムについて報告させていただきます。

今回は5人の子どもたちが参加してくれました。前回は参加してくれた子や、初めてサポートプログラムでプールにきた子など様々でしたが、それぞれのバディで挨拶を交わしこの後行くプールへワクワクを高めながら始まるまでの時間を過ごしました。



初めにみんなで「リーダー合わせゲーム」をしました。今回参加したリーダーの特技や、好きな食べ物が載ったカードを、神経衰弱のように集めるというルールで、体を少し動かしながら、リーダーと触れ合えるという楽しい時間でした。2人同時に同じカードを見つけた時は、じゃんけんをして決めるなどの学年関係ない譲り合いも見られました。

待ちに待ったプールの時間では、バディごとに準備や体操をした後プールに入りました。水中で輪投げをしたり、マリオのコイン集めゲームをしたり、ビート板やプールスティックを使って神輿を作り、「わっしょい!わっしょい!」と掛け声を言ったりして、とても楽しく遊びました。

室内では、保護者の方も、子どもとリーダーたちと一緒に、大富豪や「なんじゃもんじゃ」というカードゲームをして盛り上がりました。最後まで子どもたちの楽しんでいる姿を見ることができて、私自身とても嬉しかったし、楽しかったです!

盛岡大学1年 藤田 楓 (チーノリーダー)

1月のサポートプログラム

1月19日(日)安比高原スキー場にて、9家族11名の子どもたちと16名のリーダーで、サポートプログラム『ゲレンデで遊ぼう!』を行いました!

今年度4回目のサポートプログラムとなり、顔見知りのリーダーが増えていたこともあって、「今日のバディは誰だ〜?」と、ワクワク予想して集合場所にやってくる子どもや、知っているリーダーと一緒に遊ぶ子どもの姿がありました。

午前中は、ほとんどのバディがスキーを楽しみました。リフトに何度も乗り、スキーの自信がたくさんついた子や、ゴンドラに乗って、リーダーとたくさん話をしながら、格好よく滑る子どもの姿がありました。雪遊びをしたバディは、まだ誰も足を踏み入れていないフカフカな雪を独り占めして、普段とは違った遊びを楽しみました。

お昼休憩の時間では、他の子どもやリーダーに、「4回もリフトに乗ったんだ!」と自慢する姿や、「午後はゴンドラに乗りたい!」「リーダーを雪に埋めて楽しむぞ!」と、午後の時間を楽しみにする話がたくさん聞こえてき

ました。午後の時間は、変わらずスキーを満喫し尽くすバディや、午前はスキーをしたから午後は雪遊びを楽しむバディなど、それぞれのバディが最大限「ゲレンデで遊ぼう!」を楽しむことができました。

今回、広いスキー場の色々な場所でYMCAの赤いゼッケンを着た子どもたち・リーダーの声が聞こえるとても楽しい活動となりました。また、サポートプログラムやYMCAの他の活動でみんなに会えることを楽しみにしています!またね!

岩手大学3年 菅原 陸 (ガムリーダー)

